

心豊かでたくましい児童生徒を育む

小中一貫教育をめざして

# シリーズ えでゆれば

## vol.17

校舎の外観が

ほぼ完成します

観はほぼ完成となります。  
今回は、工事の状況や今後の予定  
を中心に伝えします。

6月から始まった三戸小学校の大規模改造工事が着々と進んでいますが、増築部分（左図の赤い囲み）は8月中旬に完成の予定であり、外

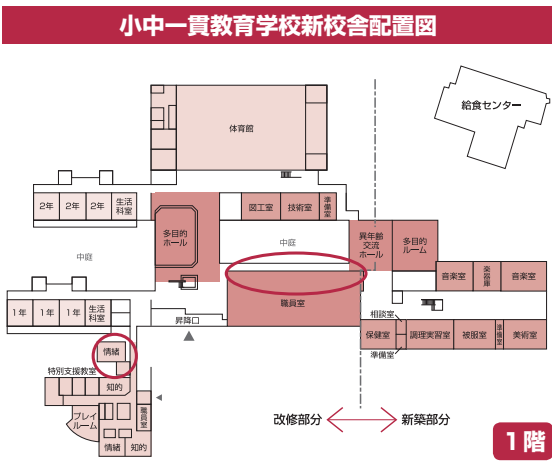


写真1 中庭部分まで増築される小中共通の職員室（左奥は新校舎）

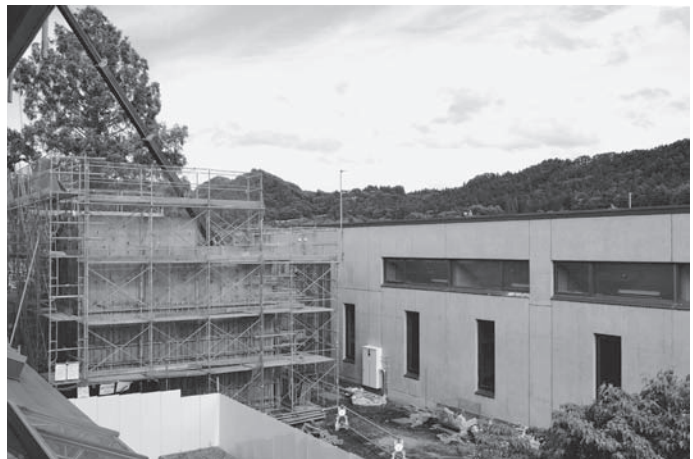


写真2 現在の特別支援教室に隣接する中学校の特別支援教室

### ◆増築工事

中庭部分に増築している小中共通の職員室（写真1）は、8月中旬に完成し、2学期から利用する予定です。

同じく、中学校部分の特別支援教室（写真2）は、現在の特別支援教室に隣接して建設中です。この間、特別支援学級の児童は、新校舎へ移動して学んでいます。

### ◆大規模改造工事（写真3）

一部の照明工事を除いた体育館の改造（床の研磨・再塗装、ラインの引き直し）は、授業に影響のない夏休み中に行い、2学期からはリニューアルした体育館で授業やクラブ活動を行うこととなります。

そのほか、図工室や6年生の教室の改造は8月中旬まで、4年生の教室は9月末まで、それ以外の教室などは、10月～2月にかけての工事が予定されています。



写真3 改造（壁塗り直し、床面補修、収納棚更新など）中の旧校舎

### ◆安全管理

直接工事を行っている教室だけでなく、騒音や振動が影響する学年の児童は、新校舎に移動して学んでいます。

また、工事エリアは仮設の壁（写真4）などにより児童が侵入できないよう封鎖するなど、安全管理には万全を期しています。

今後も緊急時の避難経路を確保しつつ、順次改造工事を進めて参ります。



写真4 仮設の壁で生活空間と区分

### 一方で学び舎が 幕を閉じます

平成25年4月に施設一体型の小中一貫教育学校が開校し、現在の中学1・2年生は三戸小学校に隣接された新しい校舎で学ぶことになりました。一方で、昭和50年に開校した三戸中学校の校舎は、38年の歴史に幕を閉じることとなります。

これに先立ち、1学期の終業式が行われた7月20日には、全校生徒の見守る中、この学び舎に対する感謝のメッセージが刻まれた垂れ幕（写真5）が設置されました。

セレモニーでは、PTAの井畑哲夫会長が「この校舎で学ぶのは今年度が最後です。幾千人、幾千通りの魂を育んできた学び舎でもありません。皆さんにはこれまでの歴史を感じ取り、校舎への感謝を抱き、一日を大切に過ごしていただきました



写真5 校舎に設置された垂れ幕



写真6 メッセージに込められた想いを伝える  
井畑PTA会長

い。そして何より、新校舎へ移動した後も伝統ある三中魂を受け継いでいただきたい。」とあいさつし、「学び舎に人生と歴史あり」というメッセージに込められた想いを生徒に伝えました。（写真6）

現在の三戸中学校の体育館は、新校舎に体育館が完成するまでの間しばらく利用されますが、38年間にわたり多くの生徒が巣立った校舎とは来年3月でお別れとなります。（写真7）

※来年1月26日（土）には、実行委員会による「三戸中学校校舎お別れ式典（仮称）」が開催される予定です。



写真7 8,000名を超える卒業生を送り出した三戸中学校舎

### 学園名の応募状況

6月25日まで募集していた学園名には、合計124件の応募がありました。

今後、関係者で組織する委員会では、選考し、決定する見込みです。たくさんのご応募ありがとうございました。